

# 平成 30 年度第 2 回理事会議事録

日時：平成 30 年 10 月 6 日(土曜日)

場所：アイーナ 8 階 801 会議室

出席者：行森良一、菊池英岳、高橋一博、川村将史、畠山裕司、宮本祥一、岡田進、  
細川裕史、阿部久子、千田文枝、小野寺絵美、相原淳路

## はじめに(行森)

今、日本では災害が続いている。西日本豪雨災害に続き、一か月前には北海道胆振東部地震が発生した。台風 24 号が日本に上陸、25 号も今週、東北、北海道に上陸する予報となっている。被害に遭われた方々にはお見舞い申し上げます。日臨技としては災害支援金を検討している。北日本支部が出来前、東北臨床検査技師会時代の東日本大震災の復興支援金を西日本や北海道の見舞金にできないか上層部で検討している。北日本支部学会が青森県で平成 30 年 11 月 10 日(土)～11 日(日)に開催される。岩手県から 8 演題エントリーされた。岩手県医学検査学会も実行役員の皆様が細川南部地区会長を中心に準備されていると思うが、是非、成功裏に終わるよう頑張ってください。

## I 報告事項(行森)

- ・医療法等の一部改正について

医療法等の一部を改定する法律が平成 30 年 12 月 13 日に施行される。日臨技としては e-ラーニングによる精度管理責任者育成コースを開設する予定である。また標準作業書等のテンプレート作成しているところである。詳しいことは日臨技のホームページや会報誌 JAMT を確認してほしい。ISO の項目は 600～700 程度で標準作業書等の項目は 200～250 程であり ISO には対応していないが、ISO の施設認証取得のベースにはなると思われる。

## II 議題(行森)

- ・『認知症対応力向上講習会 B』の開催について

講習会 A は既に終了している。開催は 3～4 か月前に日臨技に申請しなくてはならない。臨床検査技師に限らず他の職種でも認知症に対する講習会が増えている。臨床検査技師も認知症に関わる機会が多くなってきており、知識を高める為にも岩手県でも開催してほしい。講習会 B の内容は 500 分であり休憩時間等を含めると 10 時間以上となる。研修内容は主にビデオ講習と実習であり、受講資格は検体採取等に関する指定講習会受講者である。受講者は実習を含む為、最大 15 名で 5 名以下では開催できない。日臨技にも詳細を確認しながら、土日開催(2 日間)、今年度中 1 月～2 月の開催で検討していくこととなった。

- ・ホームページ作成、サイボウズの利用停止及び会費について

ホームページ作成には技師会費の値上げが必要である。ホームページを一度に作り上げるには初期経費がかかるので段階的に進め、また、利用者が増えるよう内容や利便性を充実させていく必要がある。サイボウズの利用停止については R グループ等での試験運用はまだ行っていない。会費については平成 32 年度岩手県開催の北日本支部医学検査学会の経費も必要であり、また、各地区の研修会の経費についても抑えている状況にある。岩臨技の会費は 5000 円であり、青森県は 8000 円、山形県は 7000 円、秋

田県、福島県は 6000 円である。日臨技への報告(次年度の年会費の登録)は 12 月中旬であり、総会で承認を得てからの会費値上げとなるので実際の値上げは平成 32 年度分からとなる。会費の値上げは必須であり、値上げの金額は 1000~2000 円程度になると思われるが 11 月の監査時に税理士に相談し、次回の理事会で決定することとなった。

・第 9 回北日本支部医学検査学会(岩手県開催)について

会期は平成 32 年 10 月 17 日(土)~18 日(日)で場所はいわて県民情報交流センター(アイーナ)で行う予定である。アイーナは既に押さえている。宿泊施設は全国的なイベントと重ならなければ問題ないと思われる。17 日の情報交換の会場はヤマダプランニングと相談し決定することとなった。日臨技の医学検査学会が同年 4 月に東北(宮城県)で開かれることもあり、演題数の確保が難しくなると思われる。

・地区技師会の備品について

盛岡地区技師会でスクリーンを購入したい。健康展でも必要である。資産になってしまう可能性がある。岩臨技にもスクリーンにはない。値段を確認し今後検討していくこととなった。

### III 各事業について

#### 1、総務部(菊池)

・会員名簿を発送したが間違いが数件あった。次回の会報いわてに正誤表を載せることとなった。

9 月 30 日(日)に親睦を深める活動として奥州市江刺種山ヶ原物見山でハイキングを計画したが 台風 24 号が接近した為に中止となった。

#### 2、学術部(行森)

・岩臨技の精度管理調査は 11 月 6 日に試料を発送予定となっている。回答期間は 6 日~16 日までとなっている。手引書は 11 月 5 日より確認可能。血液の北日本支部研修会が 10 月 27 日、28 日に盛岡市リリオで開催予定である。地域ニューリーダー育成研修会に川村常務理事参加予定である。

#### 3、公益部(川村)

・『がん予防啓発キャンペーン』について

9 月 9 日に大雨の中、安比高原スキー場で行われたあっぴりレーマラソンに参加した。総勢 15 名の会員で大腸がん予防啓発活動を実施した。5 年目になり公益事業の一行事として定着してきている。今後も県内広域から参加者が集まる活動をしていきたい。

・検査と健康展 in 北部について

開催日は 11 月 25 日(日)、場所は二戸ショッピングセンター ニコアで行う。実務会議を 10 月 2 日に行った。一般参加予定人数は肺年齢、血糖測定共に 100 名でスタッフは約 30 名を予定している。肺年齢測定機器や血糖測定器等はメーカーに手配済み。認知症テスト機器は日臨技よりレンタルの予定。ゆるキャラはわんこきょうだいの『こくっち』。ニコアにイベント告知用ポスターを配布し掲示して頂く予定。当日、参議院選挙になった場合、会場スペースが半分になるが、臨機応変に対応していく。今回は細胞検査士会も PR 事業として顕微鏡等を会場に手配し参加する予定である。

#### 4、生涯教育(宮本)

・今日現在 29 件行事登録されているが例年より少ない状況。日臨技申請分が 13 件でまだ 7 件程の余裕がある。これから 1 月、2 月の開催を加えれば例年通りの開催数になると思われる。

#### 5、事務局報告事項(畠山裕司)

・平成 30 年 7 月 14 日から 10 月 5 日までの事務局活動報告(詳細は別紙)

- ・8月24日に各種研修会のお知らせや会報いわて、会員名簿等を発送したが、一部に締め切りの期限の過ぎたものがあった。今後はそのようなことが無いよう頻繁に発送するようにしたい。
- ・日臨技の一斉メールを精度管理の案内、県学会 NEWS LETTER、北日本支部のアンケートを配信した。
- ・事務局内のインターネット回線はADSLを使っているが2023年1月31日で終了する。いずれはフレッツひかりに変更になると思われる。
- ・平成30年度保健医療功労者に対する知事表彰について  
該当する対象者がいなく、今回は該当者なしで報告した。

## 6、各地区活動報告

〈北部地区：岡田〉研修会を10月2日に開催した。内容は認知症で参加者は12名であった。11月25日に検査と健康展が開催される。北部地区で20名のボランティアが必要である。北部地区会員の皆様にご協力をお願いしたい。

〈盛岡地区：川村〉役員会で健康展の話し合いを行った。2月に研修会を行う予定。内容は認知症や接遇、一般検査(尿沈査)を検討している。第2回研修会を行った。内容は超音波で参加者は約30名であった。生理部門研修会と開催日が重なってしまった。運営上、開催日が限られていたが、今後は開催日が重ならないようにしたい。

〈中部地区：千田〉第2回研修会を9月22日に開催した。内容は医療法等の一部改正で参加者は23名であった。第3回の研修会を12月15日に行う予定である。

〈南部地区：細川〉研修会を気仙地区で行いたいと考えているが、今は第23回岩手県医学検査学会開催に向けて専念している。学会終了後に気仙地区で研修会を開催できるようにしたい。

## IV その他

- ・第23回岩手県医学検査学会について

日時：11月18日(日)受付開始 8:45～

場所：前沢ふれあいセンター

これまでの経過と今後の予定及び学会当日のタイムスケジュールについて(詳細は別紙)。今回のテーマは臨床検査技師の可能性と多様性。一般演題は締め切りの時点で11題のエントリーがあったが、1演題取り下げがあり最終的には10題となった。今回、岩手県学会の運営マニュアルを作成し、それに則って実行員会で周知して行動した。最優秀演題賞として賞状と記念品を贈呈することとした。教育講演は『患者さんと向き合う認知症領域臨床検査技師』で講師は深澤恵治氏、司会を岩手県初の認知症領域臨床検査技師である東八幡平病院の吉田英子氏に依頼した。公開公演は気仙ボケー一座さんに寸劇形式の演劇を予定している。岩臨技から2名と深澤さんにも出演をお願いした。お楽しみ抽選会の景品は全部で10品目程度を予定。来場者には何かしら手渡せるようにイベント等で余った景品を提供して頂きたい。出展展示は技師会企画とメーカー出展で行うこととした。技師会企画としては検体採取トレーニングシュミレーター、物忘れ相談プログラム、MCI 検査サポートソフトを企画している。メーカー出展として超音波診断装置、多項目自動血球測定装置、睡眠評価装置、POCT 機器等の展示を予定している。学会抄録は例年通り600部発注予定であるが、下刷りを南部地区実行委員で確認するが、岩臨技総務部、学術部にも確認して頂きたい。ネームを140枚発注予定であるが、抽選会用に通し番号を印刷する。今回はメーカーさんをはじめとした協賛会員さんには配布しないこととした。横断幕、垂れ幕、立て看板は会場のふれあいセンターへ依頼する予定である。最優秀演題賞は実行委員の投票により決定する。学会前日、

当日のスケジュール、行動配置、役割分担は第2回の実行委員会で周知している。当日、行森会長をはじめ、受付の宮本理事や岩臨技理事の皆様には今後、何かしらお願いすることあると思うがご協力をお願いしたい。当日の実行委員の集合時間は8時30分を予定している。前沢ふれあいセンターは8時に開場になる。検査と健康展で毎年、技師会名の入ったボールペンを注文している。余っているので数を確認して当日に持っていく。健康展のファイルも毎年送られてくるのでそれらも学会参加者に配布できるよう手配することとなった。

- 平成30年度災害派遣技師研修会について

平成30年度の災害派遣技師研修が技師会館で12月14日～15日に行われる。災害時連絡責任者を優先して募集している案内であり、災害時連絡責任である菊池副会長のスケジュールを確認してから参加を決定することとなった。